

令和8年度 第1回 南の星小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2026年5月11日（月） 10時00分～11時30分
- 2 開催場所 南の星小学校 1階会議室
- 3 出席委員 小林睦夫、稲鶴久美子、大石享志、滝井 晶、水野修吏、HASHIMOTO IZABELA、佐藤政美、大石修代
- 4 欠席委員 馬淵麻美
- 5 オブザーバー 中村優作（五島協働センター所長）
- 6 学校 竹村元清（校長）、古橋水無（教頭）、小木大輔（教務）、進士義光（CS ディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CS ディレクター 進士義光
- 9 副会長指名
稲鶴委員を副会長に指名する旨の報告があり、全員異議なく了承した。

10 議長選出

司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、小林会長が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）本年度の学校運営の基本方針について
- （2）いじめ防止基本方針について
- （3）夢育やらまいか事業について

12 会議記録

司会から、委員総数9人のうち8人の出席があり過半数に達している為、会議が成立している旨の報告があった。

（1）本年度の学校運営の基本方針について

熟議に先立ち、校長から以下の発言があった。

新1年生が33名入学し全校児童220名でスタートした。（学級数は変わらず）

正規職員、支援員、用務員等で総勢39名体制となった。議長の指示により、校長から添付資料（令和8年度南の星小学校グランドデザイン）に基づき学校運営基本方針と教職員の「業務量管理、健康確保処置の実施」に関する内容の説明があった。

（2）いじめ防止基本方針について

引き続き校長から、いじめ防止基本方針について現状の発生報告、本校の取り組みの説明があった。特に、「いじめ早期発見」の取り組みとして、普段の児童観察はもとより、6・11・2月の年間3回行われるアンケート調査に加え「三者面談」より情報を集め対応すると述べた。

熟議（学校運営の基本方針といじめ防止基本方針をまとめて）

- ・ いじめの情報共有を学校側はしていても家庭ではどうなのか？（大石享志委員）

→ 学校は必ず加害児童の家庭にも被害児童の家庭にも連絡をし、起こったことをいねいに説明している。（教頭）

- ・ 教師の心身が疲れたら相談できる環境はあるのか？（滝井委員）

→ 相談できる機関はある（校長）

- ・アンケートはどのように実施しているのか。児童が書けるようなものなのか？（水野委員）
→ シャボテンという浜松市共通システムの問いをタブレット端末で実施している。
問題があれば丁寧に聞き出し対応している。児童たちもやり慣れているようだ。（教務）
- ・南の星小学校は取り組み・行事がさかんに行われて誇らしい（ハシモト委員）
- ・いじめをいじめとっていない児童がいるのではないのか。周りの児童に合わせてしまいアンケートでは実態を拾えていないのではないのか。（大石修代委員）
- ・本日授業参観しました。1年生はもっとがやがやしていると思ったが落ち着いていて驚いた。いじめアンケートは早く終わった児童がまだ記入している児童の様子を見ているのではないのか、いじめをしている児童の家庭は情報を共有しているのか？学校から伝えられ、謝罪など何らかの行動に移すことはあるのか？（佐藤委員）
→ 家庭に情報を伝えているし、いじめをしないよう改善のお願いをしている。謝罪もある。
アンケートの途中で席は立たない。そのため周りを見ることはない。（教頭）
- ・いじめが1対1か多数か実態が分からず、仲間内だと怖い。いじめ側の家庭は実は知らない。学校はどのように対処してくれるのか保護者は不安である。（稲鶴委員）
協議の結果、全員異議なく承認した。

（3）夢育やらまいか事業について

教頭より、夢育やらまいか事業に対して、の今年度予算の主な内訳について説明があり委員から以下の発言があった。

- ・事業負担金6万円では足りないのではないのか？小林委員）
→ 加算分としての6万円であり、市から40万円程いただいている。
- ・本校は、豊かな関わり合いを大切にし、未来につながる学びの場を作っていけるようにしている。地域で、特に珍しい仕事（専門職）をしている方を紹介して欲しい。（教頭）
協議の結果、全員異議なく承認した。

（4）令和8年度学校運営協議会自己評価について

会長より本年度の目標は昨年の「多文化共生」から「国籍の垣根を越え」に変わり、さらに地域が中心となって熟議していくと説明があった。

協議の結果、全員異議なく承認した。

（5）報告

教頭から、資源回収はこれまでPTA中心であったが本年度から学校中心に、ボランティアを募集して行うことになったと報告あった。

- ・記念行事はその都度寄付を募り、集まった金額の範囲内で運営していく。ボランティア制を強力に進めていく。（水野委員）
- ・バザー等の活動が無くなったため地域と関わる機会が減るので寄付を募ってもお金は集まらないのではないのか。（佐藤委員）
- ・PTAの存在意義はあるのではないのか。（大石修代委員、会長、中村委員）

（6）連絡事項

令和8年度 第2回学校運営協議会予告

司会より、次回は令和8年7月27日（月）14：00～15：30 2階研修室で学校職員が加わりグループワークスタイルで開催する旨の報告があった。